



水 稲 管 理 情 報

高 温 対 策 編

**「高温」と「カメムシ」への対策を適切に行い
品質の向上を図る大切な時期です！**

令和8年7月
JA志賀
能登南部営農推進協議会

【生育概況】

- ・分げつ期間中は、気温が高く推移したことで、茎数が前年および平年並み～多い傾向です。
- ・7月以降も気温は高く推移することが予想され、**出穂は早まる**見込みです。追肥や防除作業の適期を逃さないよう準備しましょう。
- ・登熟期間の高温に備え、**水管理と上乗せ追肥**の実施により、栄養凋落を防止しましょう。
- ・去年の志賀管内の**主な落等要因は、カメムシによる斑点米**です。**除草管理と適期防除**で品質向上を目指しましょう。

1. 登熟期の高温対策

- ①**水管理** 出穂期は稲が**最も水を必要とする時期**です
特に出穂期前後の水不足は、収量に重大な影響を与えます
常に土から水分を供給できるようにし、稲の活力を保ちましょう

ポイント： ○中干し後の基本は「**飽水管理**」（刈り取り5日前まで継続）

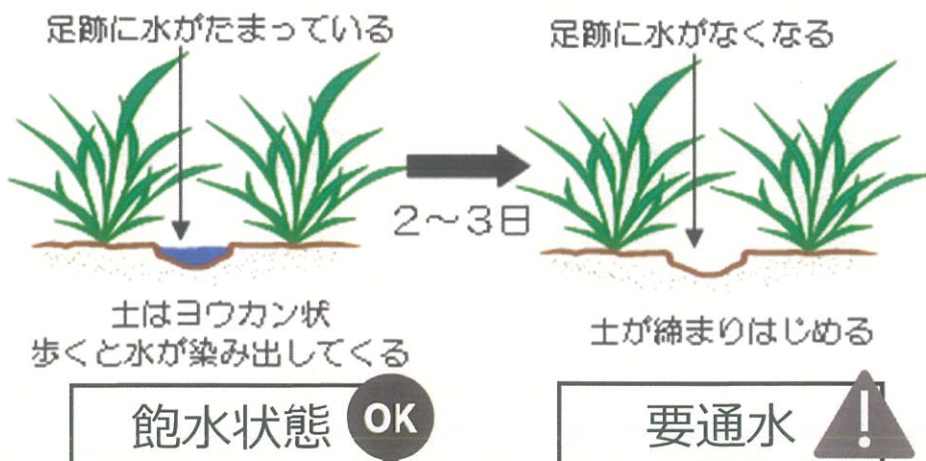


○高温時は可能な限り**夜間通水**

○**フェーン予想時は湛水**で稲を保護

【飽水管理の実践】

- ・中干し終了後 **2～3日間隔**を目安に通水（できるだけ朝か夕方）
- ・圃場内を歩くと**足跡に水が溜まる**ような状態をキープ



溝を切り直すなら
今のタイミング

（裏面へ続く）

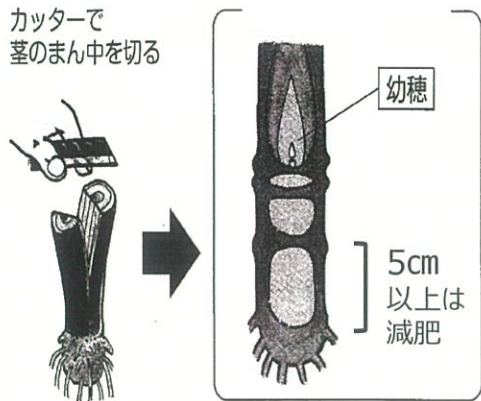
②施肥管理 基肥一発肥料への上乗せ追肥により、①登熟期の高温による栄養凋落の防止と②収量の向上を図りましょう。

【基肥一発肥料体系での上乗せ追肥】

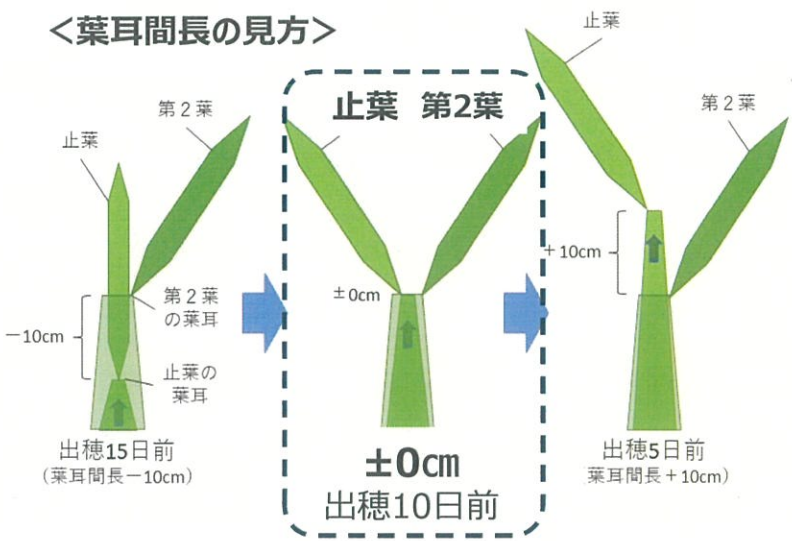
品種	出穂予測	実施時期の目安	肥料名	基準施用量
ゆめみづほ	7月16日 ～20日	出穂7～10日前(葉耳間長0～2cm) 葉色 5.0未満	BB追肥 550号	7～10kg/10a
コシヒカリ	7月24日 ～28日	出穂7～10日前(葉耳間長0～2cm) 葉色 4.0未満	BB追肥 550号	7～10kg/10a
			BB能登 みのり	

※「BB有機入り能登コシ一発DX」を施用した場合、上乗せ追肥は不要
※ 5月上旬移植ほ場の調査結果をもとに出穂を予測しています

＜幼穂長の見方＞



＜葉耳間長の見方＞



2.カメムシ対策

ポイント：

- 畦畔除草は出穂前まで（7月10日頃まで！）
- 本田除草剤の散布は「収穫前日数」に注意
- 剤型に応じて出穂時期の3回の基幹防除の徹底を！

- ・7月中旬以降（出穂後）に畦畔除草を行うと、カメムシを水田内に追い込むことになります
- ・水田内の雑草の取りこぼしはカメムシを誘引します。除草剤散布の際には「収穫前日数」を必ず確認しましょう（例：クリンチャー⇒収穫30日前まで、アトリ⇒収穫45日前まで）

【剤型ごとの防除体系】

	1回目（～出穂始め）	2回目（穂揃期）	3回目（傾穂期）
粉剤体系	ビーモトレモンセレン粉剤DL	ラブサイドキラップ粉剤DL	キラップ粉剤DL
粒剤体系	ワイドパンチ豆つぶ	キラップ粒剤	－
液剤体系	ビーモイトレボンゾル ＋バリダシン液剤 5	キラップフロアブル	キラップフロアブル

※使用の詳細は「令和8年度営農こよみ」 p.41～43を必ず確認してください